

【資料1】

大学・短大・大学校向け「Twitter(ツイッター)利用に関する調査」
回答集計結果

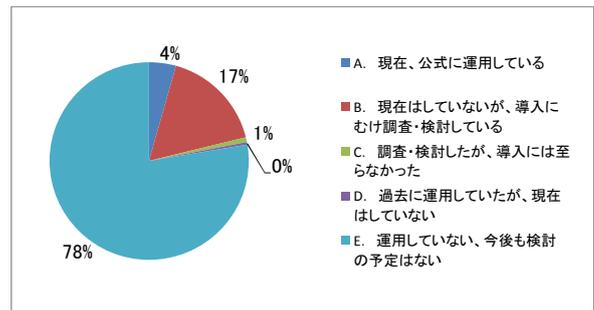
実施期間	2010年5月28日～2010年6月14日
調査対象	全国の国・公・私立の大学・短大・大学校 1128校
調査方法	質問紙の送付 FAX・メール添付・郵送による回収 ※本調査の対象選定、調査方法選定、調査実施におきましては (株) 大学通信の企画協力をいただきました。
有効回答数	483件
回収率	42.8%

＜大学広報としてのTwitterアカウント利用についての質問＞

【質問1】大学として公的にTwitterアカウントを運用していますか

全体	総数	割合
A. 現在、公式に運用している	21	4%
B. 現在ではないが、導入にむけ調査・検討している	81	17%
C. 調査・検討したが、導入には至らなかった	4	1%
D. 過去に運用していたが、現在はしていない	2	0%
E. 運用していない、今後も検討の予定はない	375	78%

有効回答数 483
回収率 42.8%



※グラフは全体(大学+短大)

4年制大学	総数	割合
A. 現在、公式に運用している	19	5%
B. 現在ではないが、導入にむけ調査・検討している	65	18%
C. 調査・検討したが、導入には至らなかった	2	1%
D. 過去に運用していたが、現在はしていない	1	0%
E. 運用していない、今後も検討の予定はない	268	75%

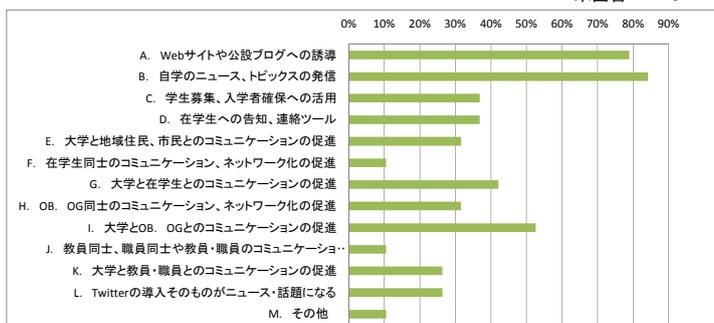
短期大学	総数	割合
A. 現在、公式に運用している	2	2%
B. 現在ではないが、導入にむけ調査・検討している	16	13%
C. 調査・検討したが、導入には至らなかった	2	2%
D. 過去に運用していたが、現在はしていない	1	1%
E. 運用していない、今後も検討の予定はない	107	84%

C、D. については、同一法人が運営する大学、短大より個別に回答をいただいた為法人単位では C=3件 D=1件となる

※【質問1】で [A. 現在、公式に運用している] と回答した大学にのみ質問
【質問2】導入のねらい、目的はなんですか(複数回答可)

全体	総数	割合
A. Webサイトや公設ブログへの誘導	15	79%
B. 自学のニュース、トピックスの発信	16	84%
C. 学生募集、入学者確保への活用	7	37%
D. 在学生への告知、連絡ツール	7	37%
E. 大学と地域住民、市民とのコミュニケーションの促進	6	32%
F. 在学生同士のコミュニケーション、ネットワーク化の促進	2	11%
G. 大学と在学生とのコミュニケーションの促進	8	42%
H. OB、OG同士のコミュニケーション、ネットワーク化の促進	6	32%
I. 大学とOB、OGとのコミュニケーションの促進	10	53%
J. 教員同士、職員同士や教員・職員のコミュニケーション、ネットワーク化の促進	2	11%
K. 大学と教員・職員とのコミュニケーションの促進	5	26%
L. Twitterの導入そのものがニュース・話題になる	5	26%
M. その他	2	11%

有効回答件数 21
未回答 0



※グラフは全体(大学+短大)

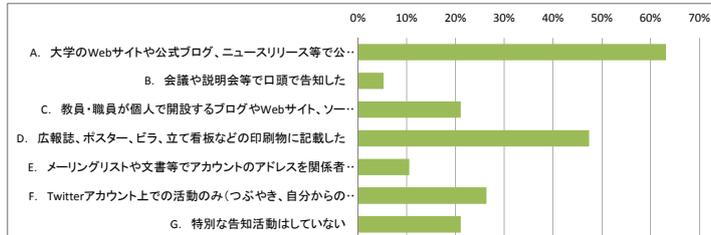
4年制大学	総数	割合
A. Webサイトや公設ブログへの誘導	14	82%
B. 自学のニュース、トピックスの発信	14	82%
C. 学生募集、入学者確保への活用	6	35%
D. 在学生への告知、連絡ツール	6	35%
E. 大学と地域住民、市民とのコミュニケーションの促進	6	35%
F. 在学生同士のコミュニケーション、ネットワ	1	6%
G. 大学と在学生とのコミュニケーションの促進	7	41%
H. OB、OG同士のコミュニケーション、ネットワーク化の促進	4	24%
I. 大学とOB、OGとのコミュニケーションの促進	8	47%
J. 教員同士、職員同士や教員・職員のコミュニケーション、ネットワーク化の促進	2	12%
K. 大学と教員・職員とのコミュニケーションの促進	5	29%
L. Twitterの導入そのものがニュース・話題に	5	29%
M. その他	2	12%

短期大学	総数	割合
A. Webサイトや公設ブログへの誘導	1	50%
B. 自学のニュース、トピックスの発信	2	100%
C. 学生募集、入学者確保への活用	1	50%
D. 在学生への告知、連絡ツール	1	50%
E. 大学と地域住民、市民とのコミュニケーションの促進	0	0%
F. 在学生同士のコミュニケーション、ネットワ	1	50%
G. 大学と在学生とのコミュニケーションの促進	1	50%
H. OB、OG同士のコミュニケーション、ネットワーク化の促進	2	100%
I. 大学とOB、OGとのコミュニケーションの促進	2	100%
J. 教員同士、職員同士や教員・職員のコミュニケーション、ネットワーク化の促進	0	0%
K. 大学と教員・職員とのコミュニケーションの促進	0	0%
L. Twitterの導入そのものがニュース・話題に	0	0%
M. その他	0	0%

※【質問1】で [A. 現在、公式に運用している] と回答した大学にのみ質問
【質問3】Twitterアカウント開設をどのように宣伝・告知しましたか。(複数回答可)

全体		総数	割合
A. 大学のWebサイトや公式ブログ、ニュースリリース等で公開した		12	63%
B. 会議や説明会等で口頭で告知した		1	5%
C. 教員・職員が個人で開設するブログやWebサイト、ソーシャルメディア等で告知してもらった		4	21%
D. 広報誌、ポスター、ビラ、立て看板などの印刷物に記載した		9	47%
E. メーリングリストや文書等でアカウントのアドレスを関係者に告知した		2	11%
F. Twitterアカウント上での活動のみ(つぶやき、自分からのフォロー等)		5	26%
G. 特別な告知活動はしていない		4	21%

有効回答件数 21
未回答 0



※グラフは全体(大学+短大)

4年制大学		総数	割合
A. 大学のWebサイトや公式ブログ、ニュース		11	65%
B. 会議や説明会等で口頭で告知した		0	0%
C. 教員・職員が個人で開設するブログやWebサイト、ソーシャルメディア等で告知してもらった		4	24%
D. 広報誌、ポスター、ビラ、立て看板などの印刷物に記載した		9	53%
E. メーリングリストや文書等でアカウントのアドレスを関係者に告知した		1	6%
F. Twitterアカウント上での活動のみ(つぶやき)		5	29%
G. 特別な告知活動はしていない		3	18%

短期大学		総数	割合
A. 大学のWebサイトや公式ブログ、ニュース		1	50%
B. 会議や説明会等で口頭で告知した		1	50%
C. 教員・職員が個人で開設するブログやWebサイト、ソーシャルメディア等で告知してもらった		0	0%
D. 広報誌、ポスター、ビラ、立て看板などの印刷物に記載した		0	0%
E. メーリングリストや文書等でアカウントのアドレスを関係者に告知した		1	50%
F. Twitterアカウント上での活動のみ(つぶやき)		0	0%
G. 特別な告知活動はしていない		1	50%

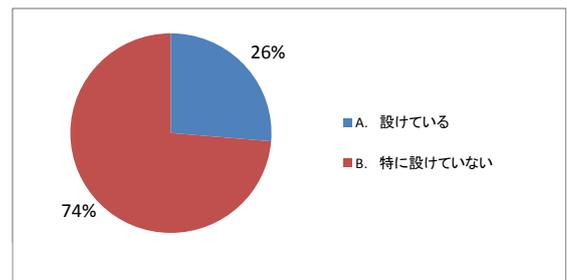
※【質問1】で [A. 現在、公式に運用している] と回答した大学にのみ質問
【質問4】大学アカウントの「つぶやき」の内容に、規程やガイドライン等を設けていますか

全体		総数	割合
A. 設けている		5	26.3%
B. 特に設けていない		14	73.7%

有効回答数 19
未回答 2

4年制大学		総数	割合
A. 設けている		5	29.4%
B. 特に設けていない		12	70.6%

短期大学		総数	割合
A. 設けている		0	0.0%
B. 特に設けていない		2	100.0%



※グラフは全体(大学+短大)

【質問5】実際にアカウントに「つぶやき」をしている担当者の所属部課、人数を教えてください。

所属部課: 役職	実数	割合
1) 広報関連部署	11	57.9%
2) アドミッションオフィス、入試広報関連部署	3	15.8%
3) 企画室、経営企画室 等	5	26.3%
4) 学長室	1	5.3%
5) アカウントを設置するセンターの職員	1	5.3%
6) 学生プロジェクトメンバー	1	5.3%
7) 情報系授業の講師陣	1	5.3%
8) Twitter担当	1	5.3%

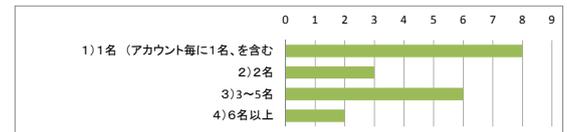
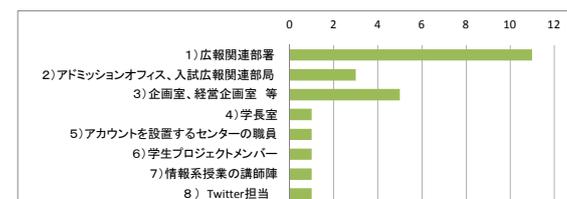
上記は自由記述による回答を小会で解釈し分類したもの。
ひとつの大学で複数に該当するものもある。

有効回答数 18
未回答 3

人数	実数
1) 1名 (アカウント毎に1名、を含む)	8
2) 2名	3
3) 3~5名	6
4) 6名以上	2

有効回答数 18
未回答 3

※4年制大学、短期大学の総数



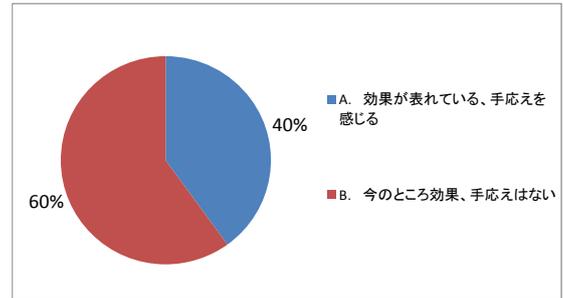
※【質問1】で [A. 現在、公式に運用している] と回答した大学にのみ質問

【質問6】Twitterアカウントを設置・運用して、導入のねらい・目的に対して、効果は表れていますか

全体		総数	割合
A. 効果が表れている、手応えを感じる		8	47%
B. 今のところ効果、手応えはない		12	80%
		有効回答数	20
		未回答	1

4年制大学		総数	割合
A. 効果が表れている、手応えを感じる		7	47%
B. 今のところ効果、手応えはない		11	73%

短期大学		総数	割合
A. 効果が表れている、手応えを感じる		1	50%
B. 今のところ効果、手応えはない		1	50%



※グラフは全体(大学+短大)

※上記【質問6】で [A. 効果が表れている、手応えを感じる] と回答した大学にのみ質問

【自由記述】どのような効果、手応えを感じるか記載してください。

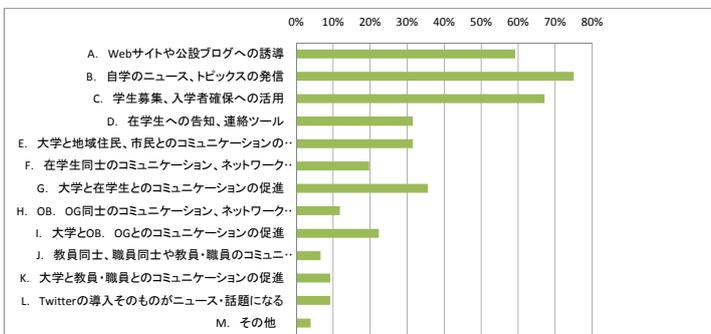
- ・ 在学生や卒業生からフォローが増えている。 在学生や卒業生など、大学関係だとわかるツイートや自己紹介などから、大学側からもフォローしている。
- ・ フォロワーが徐々に増えている
- ・ 卒業生、在学生のフォローが増えている
- ・ まだ人数は非常に少ないが、卒業生とのコミュニケーションはある
- ・ 受験生とのコミュニケーションができる
- ・ ホームページのアクセス数増加、学生サービスの向上、地域の方々との交流、学生のリテラシー向上
- ・ 学生同士のネットワークによるコミュニケーションが活性化し、ネットを利用した情報発信力が向上した

※【質問1】で [A. 現在はないが、導入にむけ調査・検討している] と回答した大学にのみ質問

【質問7】導入を検討しているねらい、目的はなんですか(複数回答可)

全体		総数	割合
A. Webサイトや公設ブログへの誘導		45	59%
B. 自学のニュース、トピックスの発信		57	75%
C. 学生募集、入学者確保への活用		51	67%
D. 在学生への告知、連絡ツール		24	32%
E. 大学と地域住民、市民とのコミュニケーションの促進		24	32%
F. 在学生同士のコミュニケーション、ネットワーク化の促進		15	20%
G. 大学と在学生とのコミュニケーションの促進		27	36%
H. OB、OG同士のコミュニケーション、ネットワーク化の促進		9	12%
I. 大学とOB、OGとのコミュニケーションの促進		17	22%
J. 教員同士、職員同士や教員・職員のコミュニケーション、ネットワーク		5	7%
K. 大学と教員・職員とのコミュニケーションの促進		7	9%
L. Twitterの導入そのものがニュース・話題になる		7	9%
M. その他		3	4%

有効回答件数 76
未回答 0



※グラフは全体(大学+短大)

4年制大学		総数	割合
A. Webサイトや公設ブログへの誘導		44	72%
B. 自学のニュース、トピックスの発信		48	79%
C. 学生募集、入学者確保への活用		41	67%
D. 在学生への告知、連絡ツール		17	28%
E. 大学と地域住民、市民とのコミュニケーションの促進		21	34%
F. 在学生同士のコミュニケーション、ネットワーク化の促進		10	16%
G. 大学と在学生とのコミュニケーションの促進		20	33%
H. OB、OG同士のコミュニケーション、ネットワーク化の促進		7	11%
I. 大学とOB、OGとのコミュニケーションの促進		15	25%
J. 教員同士、職員同士や教員・職員のコミュニケーション、ネットワーク化の促進		4	7%
K. 大学と教員・職員とのコミュニケーションの促進		6	10%
L. Twitterの導入そのものがニュース・話題になる		6	10%
M. その他		2	3%

短期大学		総数	割合
A. Webサイトや公設ブログへの誘導		1	7%
B. 自学のニュース、トピックスの発信		9	60%
C. 学生募集、入学者確保への活用		10	67%
D. 在学生への告知、連絡ツール		7	47%
E. 大学と地域住民、市民とのコミュニケーションの促進		3	20%
F. 在学生同士のコミュニケーション、ネットワーク化の促進		5	33%
G. 大学と在学生とのコミュニケーションの促進		7	47%
H. OB、OG同士のコミュニケーション、ネットワーク化の促進		2	13%
I. 大学とOB、OGとのコミュニケーションの促進		2	13%
J. 教員同士、職員同士や教員・職員のコミュニケーション、ネットワーク化の促進		1	7%
K. 大学と教員・職員とのコミュニケーションの促進		1	7%
L. Twitterの導入そのものがニュース・話題になる		1	7%
M. その他		1	7%

【質問1】で [C. 調査・検討したが、導入には至らなかった] と回答した大学にのみ質問

【質問8】導入に至らなかった理由は何でしたか(複数回答可)

全体		総数
A. 検討の結果、効果が期待できないと判断した		1
B. 運用が困難であると判断した		4
C. セキュリティやコンプライアンスの部分に問題があった		2
D. 話題になっていたので導入を検討したが、最終的に目的が絞り込めなかった		2
E. その他		0

有効回答数 4

※同一法人が運営する大学、短大を1校ずつ含むため、法人単位では「3」となる

4年制大学		総数
A. 検討の結果、効果が期待できないと判断した		1
B. 運用が困難であると判断した		2
C. セキュリティやコンプライアンスの部分に問題があった		1
D. 話題になっていたので導入を検討したが、最終的に目的が絞り込めなかった		1
E. その他		0

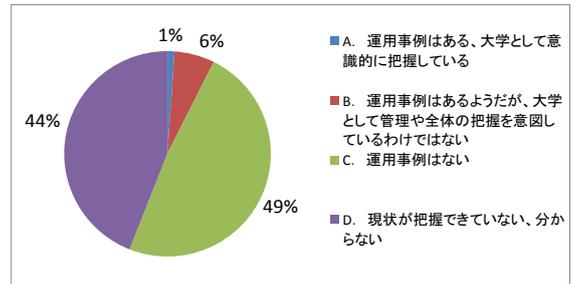
短期大学		総数
A. 検討の結果、効果が期待できないと判断した		0
B. 運用が困難であると判断した		2
C. セキュリティやコンプライアンスの部分に問題があった		1
D. 話題になっていたので導入を検討したが、最終的に目的が絞り込めなかった		1
E. その他		0

<学部、学科、研究所、センター等のTwitter利用についての質問>

【質問9】学内において、大学全体としてではなく、学部や学科、研究所、センター等で個別にアカウントを開設・運用している事例はありますか

全体		総数	割合
A. 運用事例はある、大学として意識的に把握している		5	1%
B. 運用事例はあるようだが、大学として管理や全体の把握を意図しているわけではない		29	6%
C. 運用事例はない		224	49%
D. 現状が把握できていない、分からない		203	44%

有効回答数 461
未回答 22



※グラフは全体(大学+短大)

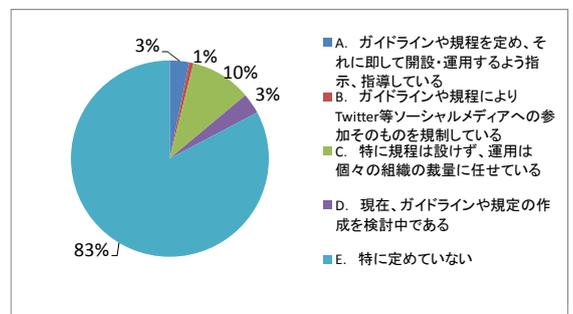
4年制大学		総数	割合
A. 運用事例はある、大学として意識的に把握している		5	1%
B. 運用事例はあるようだが、大学として管理や全体の把握を意図しているわけではない		25	7%
C. 運用事例はない		153	46%
D. 現状が把握できていない、分からない		153	46%

短期大学		総数	割合
A. 運用事例はある、大学として意識的に把握している		0	0%
B. 運用事例はあるようだが、大学として管理や全体の把握を意図しているわけではない		4	3%
C. 運用事例はない		71	57%
D. 現状が把握できていない、分からない		50	40%

【質問10】学内において、学部・学科・ゼミ・研究所・センター等で個別にアカウントを開設・運用する際のガイドラインや規定等を定めていますか

全体		総数	割合
A. ガイドラインや規程を定め、それに即して開設・運用するよう指示、指導している		14	3%
B. ガイドラインや規程によりTwitter等ソーシャルメディアへの参加そのものを規制している		3	1%
C. 特に規程は設けず、運用は個々の組織の裁量に任せている		44	10%
D. 現在、ガイドラインや規定の作成を検討中である		15	3%
E. 特に定めていない		365	83%

有効回答数 441
未回答 42



※グラフは全体(大学+短大)

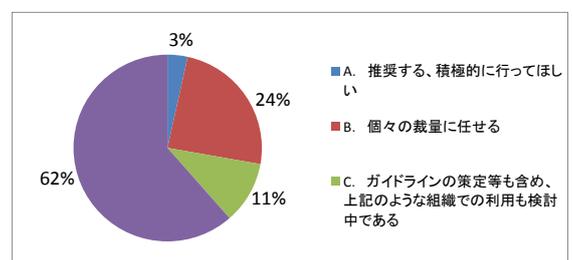
4年制大学		総数	割合
A. ガイドラインや規程を定め、それに即して開設・運用するよう指示、指導している		11	3%
B. ガイドラインや規程によりTwitter等ソーシャルメディアへの参加そのものを規制している		3	1%
C. 特に規程は設けず、運用は個々の組織の裁量に任せている		37	11%
D. 現在、ガイドラインや規定の作成を検討中である		12	4%
E. 特に定めていない		263	81%

短期大学		総数	割合
A. ガイドラインや規程を定め、それに即して開設・運用するよう指示、指導している		3	3%
B. ガイドラインや規程によりTwitter等ソーシャルメディアへの参加そのものを規制している		0	0%
C. 特に規程は設けず、運用は個々の組織の裁量に任せている		7	6%
D. 現在、ガイドラインや規定の作成を検討中である		3	3%
E. 特に定めていない		102	89%

【質問11】学部・学科・ゼミ・研究所・センター等の組織で個別にアカウントを開設・運用することについてどう思いますか

全体		総数	割合
A. 推奨する、積極的に行ってほしい		15	3%
B. 個々の裁量に任せる		106	24%
C. ガイドラインの策定等も含め、上記のような組織での利用も検討中である		47	11%
D. わからない、意識したことはない		268	61%

有効回答数 436
未回答 47



※グラフは全体(大学+短大)

4年制大学		総数	割合
A. 推奨する、積極的に行ってほしい		10	3%
B. 個々の裁量に任せる		85	27%
C. ガイドラインの策定等も含め、上記のような組織での利用も検討中である		37	11%
D. わからない、意識したことはない		189	59%

短期大学		総数	割合
A. 推奨する、積極的に行ってほしい		5	4%
B. 個々の裁量に任せる		21	18%
C. ガイドラインの策定等も含め、上記のような組織での利用も検討中である		10	9%
D. わからない、意識したことはない		79	69%

<教職・職員のTwitter利用についての質問>

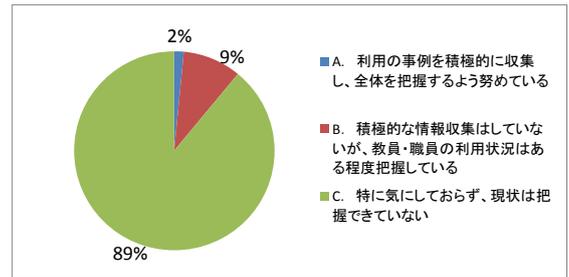
【質問12】大学として、所属する教員・職員のTwitter利用の現状について把握していますか

全体		総数	割合
A. 利用の事例を積極的に収集し、全体を把握するよう努めている		7	2%
B. 積極的な情報収集はしていないが、教員・職員の利用状況はある程度把握している		43	9%
C. 特に気にしておらず、現状は把握できていない		407	89%

有効回答数 457
未回答 26

4年制大学		総数	割合
A. 利用の事例を積極的に収集し、全体を把握するよう努めている		6	2%
B. 積極的な情報収集はしていないが、教員・職員の利用状況はある程度把握している		34	10%
C. 特に気にしておらず、現状は把握できていない		300	88%

短期大学		総数	割合
A. 利用の事例を積極的に収集し、全体を把握するよう努めている		1	1%
B. 積極的な情報収集はしていないが、教員・職員の利用状況はある程度把握している		9	8%
C. 特に気にしておらず、現状は把握できていない		107	91%



※グラフは全体(大学+短大)

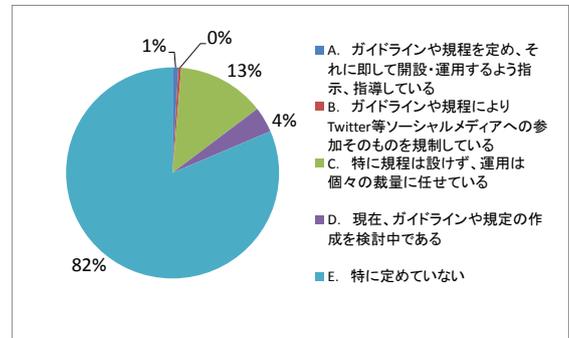
【質問13】所属する教員・職員がTwitterアカウントを開設・運営する際のガイドラインや規定等を定めていますか

全体		総数	割合
A. ガイドラインや規程を定め、それに即して開設・運用するよう指示、指導している		4	1%
B. ガイドラインや規程によりTwitter等ソーシャルメディアへの参加そのものを規制している		2	0%
C. 特に規程は設けず、運用は個々の裁量に任せている		61	13%
D. 現在、ガイドラインや規定の作成を検討中である		18	4%
E. 特に定めていない		373	81%

有効回答数 458
未回答 25

4年制大学		総数	割合
A. ガイドラインや規程を定め、それに即して開設・運用するよう指示、指導している		2	1%
B. ガイドラインや規程によりTwitter等ソーシャルメディアへの参加そのものを規制している		1	0%
C. 特に規程は設けず、運用は個々の裁量に任せている		42	13%
D. 現在、ガイドラインや規定の作成を検討中である		14	4%
E. 特に定めていない		278	83%

短期大学		総数	割合
A. ガイドラインや規程を定め、それに即して開設・運用するよう指示、指導している		2	2%
B. ガイドラインや規程によりTwitter等ソーシャルメディアへの参加そのものを規制している		1	1%
C. 特に規程は設けず、運用は個々の裁量に任せている		19	16%
D. 現在、ガイドラインや規定の作成を検討中である		4	3%
E. 特に定めていない		95	79%



※グラフは全体(大学+短大)

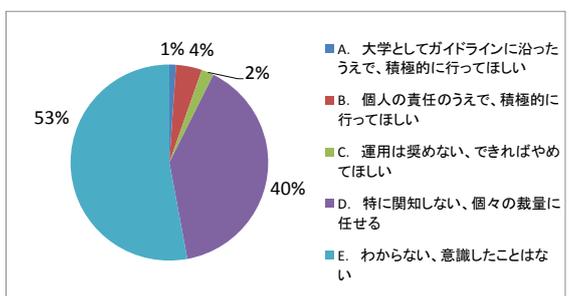
【質問14】大学として、教員・職員のTwitter利用を推奨しますか

全体		総数	割合
A. 大学としてガイドラインに沿ったうえで、積極的に行ってほしい		5	1%
B. 個人の責任のうえで、積極的に行ってほしい		19	4%
C. 運用は奨めない、できればやめてほしい		9	2%
D. 特に関知しない、個々の裁量に任せる		178	40%
E. わからない、意識したことはない		237	53%

有効回答数 448
未回答 35

4年制大学		総数	割合
A. 大学としてガイドラインに沿ったうえで、積極的に行ってほしい		3	1%
B. 個人の責任のうえで、積極的に行ってほしい		18	5%
C. 運用は奨めない、できればやめてほしい		7	2%
D. 特に関知しない、個々の裁量に任せる		131	40%
E. わからない、意識したことはない		173	53%

短期大学		総数	割合
A. 大学としてガイドラインに沿ったうえで、積極的に行ってほしい		2	2%
B. 個人の責任のうえで、積極的に行ってほしい		1	1%
C. 運用は奨めない、できればやめてほしい		2	2%
D. 特に関知しない、個々の裁量に任せる		47	41%
E. わからない、意識したことはない		64	56%



※グラフは全体(大学+短大)

<教職・職員のTwitter利用についての質問>

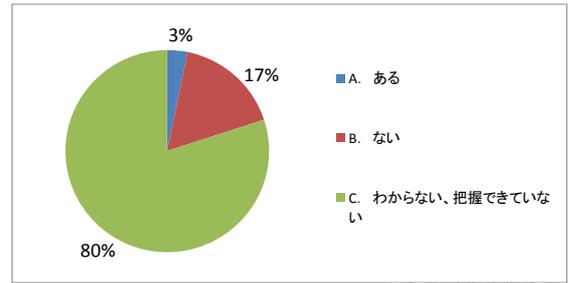
【質問15】オリジナルアカウントの開設の有無を問わず、講義やゼミのなかでTwitterを活用している事例はありますか

全体		
	総数	割合
A. ある	15	3%
B. ない	78	17%
C. わからない、把握できていない	373	80%

有効回答数 466
 未回答 17

4年制大学		
	総数	割合
A. ある	13	4%
B. ない	51	15%
C. わからない、把握できていない	279	81%

短期大学		
	総数	割合
A. ある	2	2%
B. ない	27	22%
C. わからない、把握できていない	94	76%



※グラフは全体(大学+短大)

<基本情報>

回答いただいた大学・短大・大学校

	4年制大学			大学校	短期大学		合計
	国立	公立	私立		公立	私立	
北海道	6	4	12		4		26
青森県	1	2	3		4		10
岩手県	1	0	3		0		4
宮城県	1	0	4		0		5
秋田県	1	2	1		1		5
山形県	0	1	1		0	1	3
福島県	1	2	1		1	1	6
茨城県	1	0	1		0		2
栃木県	0	0	3		1		4
群馬県	0	1	4		3		8
埼玉県	1	0	14		8		23
千葉県	1	0	6	1	2		10
東京都	5	0	61		16		82
神奈川県	1	1	10	1	7	2	22
新潟県	2	0	6		3		11
富山県	1	0	2		1		4
石川県	1	2	3		1		7
福井県	1	0	2		1		4
山梨県	0	2	2		0		4
長野県	1	0	3		2	1	7
岐阜県	0	1	3		6	1	11
静岡県	0	0	5		2	1	8
愛知県	3	2	23		10		38
三重県	0	1	1		1		3
滋賀県	1	0	1		0		2
京都府	3	1	15		6		25
大阪府	0	0	18		10		28
兵庫県	2	2	12		9		25
奈良県	2	0	3		1		6
和歌山県	1	1	0		0		2
鳥取県	1	0	0		0		1
島根県	1	1	0		0	1	3
岡山県	0	2	6		2	1	11
広島県	1	2	6	1	3	1	14
山口県	1	0	1		1		3
徳島県	1	0	1		2		4
香川県	0	0	1		0		1
愛媛県	1	1	2		2		6
高知県	1	0	1		0		2
福岡県	0	1	12		6		19
佐賀県	1	0	1		0		2
長崎県	1	1	3		1		6
熊本県	2	1	2		0		5
大分県	2	0	2		0	1	5
宮崎県	1	1	1		0		3
鹿児島県	1	0	0		0		1
沖縄県	0	0	2		0		2
合計	53	35	264	3	117	11	483
総計							483

○ 本調査に係わるお問い合わせ
地域科学研究会 高等教育情報センター
担当：山本 修裕

FAX : 03-3234-4993
E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp
URL : http://www.chiikikagaku-k.co.jp